

平成 29 年度 公益社団法人京都鴨沂会事業報告

I 公益目的事業

(公1) 高等学校教育を振興するための奨学金及び研究支援と助成金

高等学校教育の振興と学力向上に寄与し、社会の発展に寄与する人材を育成し、わが国の教育振興に貢献することを目的として、次の事業を行う。

ア 奨学金 (公募)

勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な公立高等学校生徒に対して奨学金を給付。

「京都鴨沂会奨学金」 月額 10,000 円、月額 6,000 円

京都府公立高校 7 校から 30 名の応募があり、有識者で構成される選考委員会により慎重に審議し、6 校 13 名 (3 年生 9 名、2 年生 4 名) を選出し、理事会の議を経て奨学金給付を決定し、給付を実施した。

イ 研究助成・教育振興支援 (公募)

「京都鴨沂会教育支援助成費」

高等学校の教育振興と学力向上に寄与する研究 (高校独自の教育特別事業) に対して、必要資金の一部を助成する。

1 件 20 万円 : 2 件を限度

- 平成 28 年度末に採択を決定した教育支援助成費 10 万円の給付を実施した。

京都市立伏見工業高等学校 : CASE プログラムの授業内実践による高等学校理科における学習姿勢と学習意欲の向上をねらいとした授業方法の構築～高等学校理科 (物理) の客観的学力の向上に向けた取組

- 平成 29 年度は 2 件の応募があり、有識者で構成される教育事業企画委員会が応募書類を審議し、理事会の議を経て採否を決定し、下記の 2 件が採択された。

京都市立銅駝美術工芸高等学校 : iPad を利用した ICT 教育の推進

京都市立紫野高等学校 : 素朴概念の解消を通じた認知発達の加速を中心にした、中堅校向けの高校物理の教授法のロールモデルの作成

「高校大学連携教育活動支援事業」

高校大学連携教育プログラムを支援する。高校生及び高校教師を対象とした講義あるいは実習のための指導者、会場等のコーディネーションを行う。本年度は 1 件の応募があり、教育事業企画委員会が審議し、理事会の議を経て下記の 1 件が採択され、経費の一部を助成した。

- 高大連携特別講義

日時 : 平成 29 年 11 月 19 日 (日) 場所 : 鴨沂会館新館 2 階ホール

演題 1 「今の運動が未来の健康を決める～最近の知見より～」

森谷敏夫・京都大学名誉教授 京都産業大学/中京大学客員教授

演題 2 : 「若さの栄養学 食べ方であなたの未来はどう変わる? 食事の食べ方について考えてみましょう！」

森真理・武庫川女子大学 国際健康開発研究所 講師

聴講者 : 高校生 3 校から 9 名、引率 3 名、引率以外の教員・病院関係者 6 名

(公2) 高齢者福祉及び国際相互理解の促進に資するための芸術・伝統文化講習会とボランティア活動

地域活性化に資するボランティア活動の支援を目的とする。ボランティア活動のきっかけ作りとリーダーの育成

のために伝統文化や音楽の講習会を開催し、習得した知識と手技を活かして活動する地域活性化ボランティアや高齢者福祉および外国人留学生支援ボランティアグループを支援し地域社会の健全な発展に貢献する。

ア 芸術・伝統文化講習会の開催

高齢者福祉、留学生支援など地域活性化に資するボランティア活動のきっかけ作りと担い手の育成のための講習会を開催する。

「京都鴨沂会文化教室」

茶道教室 講師 吉田 宗翠 (月1回)
華道教室 講師 木平 珠影 (月1回) 11月まで
謡曲教室 講師 矢木 喜代子 (月2回)
書道教室 講師 嶋 映子 (月1回) 8月開講

イ 地域活性化に資する自主的グループ活動の支援

学習効果を地域に還元する実践プログラムを自主的に創りあげる活動の、側面的なサポートを本会が行う。地域活性化に資する自主グループ活動にはボランティア活動支援として経費の一部を支援する。

「第4回能舞台フェスタ in 今宮御旅所」

地域活性化に資する能・狂言・邦楽等の伝統文化振興活動を協賛団体として支援した。

ウ 高齢者福祉ボランティア活動の推進

ボランティア活動の情報提供と実践のための福祉教育および福祉ボランティア活動のコーディネーションを行い、ボランティア活動支援金として必要経費の一部を支援する。

本年度は高齢者福祉施設及び障害者施設9箇所へ計29回延べ158名のボランティアを派遣し、ボランティア活動助成委員会が作成した基準に基づいて助成費を支給した。

① 京都鴨沂会茶道教室	ケアハウスサウスヴィレッジ向島	3名	5回
② 書道 青谷 京子	介護付有料老人ホーム洛和会ホームライフ山科東野		12回
嶋 映子	NPO 法人つくし		1回
③ 京都梅若会朝優支部	京都市本能特別養護老人ホーム	8~10名	3回
	天神川ケアセンターそよ風	8名	1回
④ 歌唱 ミモザ	NPO 法人伝書バト デイサービスセンター	4名	2回
詩音	大津市坂本民主診療ホール	4名	1回
アルベロ・フェリーチェ	特別養護老人ホーム故郷の家京都	8名	1回
ソングバード	天神川ケアセンターそよ風	11-14名	2回
ハーモニー啓	京都市修徳特別養護老人ホーム	50名	1回

エ 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の教育に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化に貢献する。

「高校留学生のための日本伝統文化体験学習会」

平成29年9月24日 鴨沂会館

華道 草月流 「伝統文化をふまえた生け花」 講師 木平 珠影 助手2名

茶道 裏千家 「講師による薄茶点前の実演と呈茶及び留学生の盆略点前の実習」

講師 吉田嘉代子 助手 2名

書道 「暫し、書を楽しむ」 講師 嶋 映子

京都4校、大阪3校、計7校の高校に留学中のアメリカ、フィンランド、オーストラリア、ブラジル、中国からの高校生7名、付添ボランティアとしてAFSから5名が参加し、本会役員も協力して、日本伝統文化についての説明と実技体験が行われた。

「外国人のための日本伝統文化教室」

- ① 受講者：アンナ・ヘンツェル（ドイツ人）
華道 草月流 講師 木平 珠影 平成29年6月
- ② 受講者：チェン・セイディ（アメリカ人）
茶道 裏千家 講師 吉田 宗翠 平成29年6月

（公3）生涯学習を支援するための公開講演

学術・芸術・文芸・環境・医療・福祉等に関する公開講座を開催し、地域住民の生涯学習を支援し地域の文化振興に資するとともに、福祉教育を普及し地域包括高齢者福祉に貢献する。

「教養講座」

第46回 平成29年5月20日 御所西 京都平安ホテル

「女性が教育を受けるというのはどのようにとらえられたか —1900年代と1960年代における議論」

講師：小山静子 京都大学教授

第47回 平成29年10月21日 鴨沂会館

「国宝～その歴史と美について～」 講師：宮川禎一 京都国立博物館上級研究員

（公4）文化芸術及び生涯学習支援等の情報提供

公益法人としての事業活動の一般への開示の目的に加えて、伝統文化、芸術、環境、福祉に関する論文を有識者による編集委員会により編集し、文化芸術及び生涯学習支援のための情報提供とともに教育史、女性史の資料として文化振興に貢献する。

ア 鴨沂会誌の刊行及び保存管理

鴨沂会誌154号は、教養講座の論文、高校奨学生作文、伝統文化学習とボランティア活動の内容等を編集し、刊行した。会誌は、鴨沂会館史料室、京都府立京都学・歴史館、京都市男女共同参画センター、京都府立鴨沂高等学校図書館に保存、随時閲覧可能であり、ホームページに公開している。

明治20年以來の150冊を超える鴨沂会誌全巻とともに編集資料（歴史的写真と、そのデジタルアーカイブ、生徒の作品、京都府立女学校旧校舎、鴨沂高校校舎の設計図）の保存管理を行なった。

II 会報の刊行その他会員向け事業

ア 鴨沂会報第14号の発行

法人活動及び会員の近況を会員へ報告する目的で編集し、全会員に配布する。

なお、鴨沂会館史料室に保存して、閲覧可能。

イ 「会員総会」の開催

法人活動の報告のために第127回京都鴨沂会年会において会員総会を開催。

III. 収益事業

「ホール、会議室等の賃貸」

鴨沂会館のホール及び会議室等は文化・芸術活動支援を目的として、オーケストラ、室内楽、コーラス、舞踏などの常設練習場として、また講演会、会議、伝統芸能の教室として一般の利用に供した。

IV 会 務

会 議

- ・第 127 回年会 平成 29 年 5 月 20 日（土）10 時 30 分～15 時 30 分 於 御所西 京都平安ホテル
定時社員総会： 事業報告、収支報告
記念講演： 講師：小山静子 京都大学教授
「女性が教育を受けるといのはどのようなようにとらえられたか -1900年代と1960年代における議論」
会員総会： 社員総会報告
- ・理 事 会 11 回
- ・監査委員会 1 回
- ・各種委員会 庶務部
会計部
編集・史料部
公益目的事業企画委員会
教育事業企画委員会 （奨学生選考、研究助成・教育支援費）
文化事業企画委員会 （文化教室企画・講師選考、ボランティア活動助成費）
教養講座企画委員会 （演題・講師選考）

情報開示

ホームページで、会務、事業、及び収支に関する報告、事業計画、予算を公開する。